I-ne＜4933＞、インテグラル・グループ＜5842＞と組んでMBOで株式を非公開化

ヘアケア製品や美容家電を開発・販売するI-neは、大手日用品メーカーや家電メーカーとの競争が激しさを増す中、ブランド・商品開発戦略や広告宣伝投資の強化、海外展開の加速などに機動的に取り組む必要があると判断。投資会社のインテグラル・グループと組んだMBO（経営陣による買収）で株式を非公開化し、短期的な資本市場の評価に左右されない経営体制の構築を進める。

また、I-neは2022年12月期に実施した商標権譲受取引を巡ってガバナンス上の問題が指摘されているほか、東証から市場区分変更時の宣誓書違反が認められたとして、再審査に係る猶予期間入りの決定と上場契約違約金の徴求を受けている。今回のMBOは経営改革を進める狙いもある。

投資事業を展開するインテグラル・グループは、これまでの投資経験を生かし、I-neの新規ブランド・商品の開発や海外展開、ガバナンス強化を支援する。I-neの大西洋平社長は非公開化後も引き続き経営に携わる。

買付主体はインテグラル・グループ傘下のジャンボ（東京都千代田区）。I-ne株式の買付価格は1株につき2248円。TOB公表前日の終値2530円に対して11.15％のディスカウントとなる。買付予定数は785万7969株。上限・下限は設定しない。買付代金は約176億6400万円。

I-neの大西洋平社長と同氏の資産管理会社が保有する56.07％の株式はTOBに応募しない。

買付期間は2026年11月24日～2027年1月8日の30営業日。決済の開始日は1月18日。公開買付代理人はSBI証券。

I-neはTOBに賛同したが、応募するかどうかは株主の判断に委ねることにした。TOBが成立すれば、同社の東証プライム市場への上場は廃止となる。

TOB成立後、I-neはジャンボによる出資を受けて、大西氏の資産管理会社が保有する自己株式の一部を取得する。最終的にはジャンボがI-neが完全子会社化する。間接保有により、出資比率はインテグラル・グループが51％、大西氏と同氏の資産管理会社の合計で49％になる。取得総額は約196億2700万円。

I-
neは2007年に美容関連商品の企画・販売を目的に創業。2020年に東証マザーズ市場に上場後、2022年4月に東証グロース市場へ移行し、2023年9月から東証プライム市場に市場変更した。